

## 目次

1	はじめに .....	1
2	研究業績 .....	2
(1)	原著・報告 .....	2
(2)	解説 .....	5
(3)	著書 .....	6
(4)	報告書 .....	7
(5)	シンポジウム・セミナー等 .....	8
(6)	学会発表 .....	9
(7)	講演等 .....	14
(8)	その他 .....	17
(9)	受賞 .....	18
(10)	国際交流 .....	18
3	研究活動 .....	19
(1)	抄読会 .....	19
(2)	地域看護学勉強会 .....	20
(3)	研究会 .....	22
(4)	研究プロジェクト .....	23
(5)	教室内勉強会 .....	25
4	教育活動 .....	27
(1)	学部講義 .....	27
(2)	学部実習 .....	28
(3)	大学院特論 .....	29
(4)	大学院実習 .....	36
(5)	活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム 大学院講義 .....	36
(6)	卒業論文 .....	36
(7)	修士論文 .....	37
5	学内での活動 .....	38
(1)	委員会活動 .....	38
(2)	教室内での役割分担 .....	38
6	学会における活動 .....	39
7	社会的活動 .....	40
8	教室日誌 .....	41
9	教室員名簿(2014年度) .....	42

## 1 はじめに

平成 26 年 4 月から本学健康科学・看護学専攻修士課程での保健師・助産師教育がスタートしました。私ども地域看護学分野は、保健師教育の担当教室として、保健師教育コース学生 1 名への教育を行いました。研究能力と実践能力を併せ持つ保健師の育成に向けて、講義においては理論と実践の融合をめざし、実習においては実践的研究を組み入れました。公共健康医学専攻の複数の講義を保健師教育科目として活用させていただき、実習施設においては新たな実習を練り上げていく過程にご協力いただきました。加えて、関連する看護系教室のご支援や、他大学からの情報提供を受けながら、初年度の保健師教育を無事終えることができました。今年度の課題を活かし、今後の教育をより充実させていきたく存じます。

昨年から参加した、本学高齢社会総合研究機構による福井県との協定に基づくレセプト研究においては、医療保険・介護保険・特定健診等の突合データを扱っています。レセプトのデータ解析に加えて、地理情報システム (GIS) を用いた資源へのアクセスの把握、担当者間の連携状況を把握するための調査、生活実態等を踏まえた解釈を行うための現地視察などを合わせて実施し、具体的な提言につながる成果を挙げるよう今後も研究を続けていきます。

本専攻が参加している博士課程教育リーディングプログラム「活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム」が今年度開講され、本分野からは 2 名の学生が受講しています。専攻分野の枠を超えた取り組みは教室員にも刺激を与え、多様な研究アプローチへの関心が高まりました。あらゆる年齢・健康度の人々を対象として、住み慣れた地域で暮らし続けるためのシステム構築をめざし、各自がそれぞれの方法で研究を進めています。

平成 26 年 4 月に着任したリーディングプログラムの御子柴直子特任助教は、本分野にも拠点を持ち、学部教育や学生の論文指導に当たりました。保健師教育の主担当を務めた蔭山正子助教、レセプト研究の事務局を務めた成瀬昂助教、老年看護学教室と兼担の飯坂真司助教ともども、新たに増加した業務に対応し、何とか 1 年を終えることができました。平成 27 年 3 月には修士課程 2 名、卒論生 2 名が学位を得ました。皆様のご支援のおかげと、心より感謝申し上げます。

ここに平成 26 年度の活動報告をまとめました。教室員一同、今後も研究と教育に邁進していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしく願い申し上げます。

平成 27 年 4 月

東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻  
地域看護学分野 准教授 永田智子

## 2 研究業績

### (1) 原著・報告

Satoko Nagata, Chie Teramoto, Reiko Okamoto, Keiko Koide, Masumi Nishida, Ruriko Suzuki, Michie Nomura, Toshiko Tada, Emiko Kishi, Yoko Sakai, Noriko Jojima, Emiko Kusano, Saori Iwamoto, Miki Saito, Sachiyo Murashima.  
The tsunami's impact on mortality in a town severely damaged by the 2011 Great East Japan Earthquake.  
*Disasters*, 38(2), 111-122, 2014.

Mahiro Sakai, Takashi Naruse, Satoko Nagata.  
Work Engagement and Attitudes toward Caring for Dying Patients and the Families among Home Visiting Nurses.  
*International Journal of Palliative Nursing*, 20(7), 343-348, 2014.

Mahiro Sakai, Midori Mizui, Takashi Naruse, Satoko Nagata.  
Attendance at End-of-Life Care Seminars and Related Factors among Home Visiting Nurses.  
*Clinical Nursing Studies*, 2(3), 116-126, 2014.

Atsuko Taguchi, Satoko Nagata, Takashi Naruse, Yuki Kuwahara, Takuhiro Yamaguchi, Murashima Sachiyo.  
Identification of the need for home visiting nurse: development of a new assessment tool.  
*International Journal of Integrated Care*, 14 Jan-Mar: e008, 2014.

Atsuko Taguchi, Takashi Naruse, Yuki Kuwahara, Atsushi Matsunaga, Satoko Nagata, Sachiyo Murashima.  
Characteristics of clients using home-visiting nursing services at nighttime and early morning in Japan -Focusing on clients' cancellation of services of visiting nurses at nighttime and early morning.  
*Home Health Care Management & Practice*, 26, 250-256, 2014.

Tsukasa Domoto, Yukie Takemura, Satoko Nagata.  
Effects of a Screening Tool and Conference on Nurses' Discharge-planning Ability in a Hospital without a Discharge Planning Department.  
Clinical Nursing Studies, 2(3), (DOI: 10.5430/cns.v2n3p127), 2014.

Satoko Nagata, Kaoru Ogawa, Atsuko Taguchi, Takashi Naruse, Sachiyo Murashima, Joan Kathy Magilvy.  
Promoting the use of visiting nurse services for patients discharged from hospital: Evaluation of a Japanese municipality's model project.  
Home Health Care Management & Practice, (DOI: +10.1177/1084822314547960), 2015 (in press).

Naoko Mikoshiba, Noriko Yamamoto-Mitani, Kazuki Sato, Yoshinari Asaoka, Takafumi Ohki, Misato Ohata, Mitsunori Miyashita.  
Validation of the Japanese version of HFS-14, a disease-specific quality of life scale for patients suffering from hand-foot syndrome.  
Support Care Cancer, 2015 Feb. 8. (Epub ahead of print).

Mahiro Sakai, Hiroki Yanase, Atsuko Taguchi, Takashi Naruse, Satoko Nagata.  
Community residents' confidence in spending end-of-life at home: a cross sectional study.  
Japanese Journal of Health and Human Ecology, 81(4), 2015(in press).

Chie Teramoto, Atsushi Matsunaga, Satoko Nagata.  
Cross-sectional study of social support and psychological distress among displaced earthquake survivors in Japan.  
Japan Journal of Nursing Science, 2015 (in press).

Chie Teramoto, Satoko Nagata, Reiko Okamoto, Ruriko Suzuki, Emiko Kishi, Michie Nomura, Noriko Jojima, Masumi Nishida, Keiko Koide, Emiko Kusano, Saori Iwamoto, Sachiyo Murashima.  
Identifying Residents' Health Issues Six Weeks after the Great East Japan Earthquake.  
Public Health Nursing, 2015 (in press).

Hiroshige Matsumoto, Takashi Naruse, Mahiro Sakai, Satoko Nagata.

Who prefers to age in place? Cross-sectional survey of middle-aged people in Japan.

Geriatrics & Gerontology International, 2015 (in press).

蔭山正子, 横山恵子, 中村由嘉子, 大嶋巖.

精神障がい家族ピア教育プログラムの普及:「家族による家族学習会」のケーススタディ.

日本公衆衛生雑誌, 61(5), 221-232, 2014.

蔭山正子, 横山恵子, 中村由嘉子, 小林清香, 仁科雄介, 大嶋巖.

精神障がい者家族ピア教育プログラムの採用に関連する要因:「家族による家族学習会」の普及研究.

日本公衆衛生雑誌, 61(10), 625-636, 2014.

蔭山正子.

精神障がい者家族会の組織発展と家族ピア教育プログラム「家族による家族学習会」との関連.

日本公衆衛生看護学会誌, 3(1), 31-39, 2014.

蔭山正子, 横山恵子, 中村由嘉子, 小林清香.

精神障がい者家族会の家族ピア教育プログラムの継続意向に関連する要因.

日本地域看護学会誌, 17(2), 36-44, 2014.

成瀬昂, 阪井万裕, 永田智子.

Relational coordination 尺度日本語版の信頼性・妥当性の検討.

日本公衆衛生雑誌, 61(9), 565-573, 2014.

山居優子, 永田智子, 小倉朗子, 中山優季, 村嶋幸代.

筋萎縮性側索硬化症患者の胃瘻造設術実施時期に影響する要因—情報提供のされ方と患者・家族の受け止めに焦点を当てて—.

日本難病看護学会誌, 19(2), 163-173, 2014.

蔭山正子，大島巖，中村由嘉子，横山恵子，小林清香。

精神障がい者家族ピア教育プログラムの実施プロトコル遵守に関する尺度開発：  
フィデリティ尺度。

日本公衆衛生雑誌，印刷中。

蔭山正子，横山恵子，小林清香，中村由嘉子。

精神障がいの家族ピア教育プログラムの質的評価—プログラム事後の自由記載の  
分析—。

日本看護科学会誌，印刷中。

田口敦子，永田智子，成瀬昂，栞原 雄樹，山口拓洋，村嶋幸代。

訪問看護必要性アセスメントシート的一般化可能性および活用可能性の検討。

日本医療・病院管理学会誌，印刷中。

有本 梓，岩崎りほ，村嶋幸代，田高悦子。

1歳6か月児の母親における保健センターへの相談の希望と経験に関連する要因  
の検討。

横浜看護学雑誌，8(1)，2015。印刷中。

田口敦子，奥田春花，吉田和子，五十嵐ひとみ，佐藤裕子，佐々木夫起子，山内  
かず子，永田智子。

大学病院における退院支援スクリーニング指標の基準関連妥当性の検討。

東北大学保健学科紀要，印刷中。

## (2) 解説

永田智子。

療養場所の円滑な移行に向けた退院支援方策の開発とその評価。

看護科学研究，13，18-21，2015。

成瀬昂。

看護学生のための「そうだったの？ “気になる” ニュース」。第1回 看護師の離  
職と需給。

Nursing campus 4月号，96-97，2015。

御子柴直子.

がん治療に伴う変化をとらえる ～実践に生きるアセスメントツール～ 症状からみる皮膚障害・手足症候群.

がん看護, 19 (7), 651-653, 2014.

松永篤志, 森下絵梨, 竹花知恵, 岩間純子, 永田智子.

東日本大震災被災高齢者に対する運動支援 町全体で製作・普及に取り組む「大槌びんころ体操」.

保健師ジャーナル, 70(8), 680-685, 2014.

吉江悟, 松本佳子, 土屋瑠見子, 飯島勝矢, 辻哲夫.

在宅医療多職種研修とその効果.

カレントセラピー, 30(2), 80-86, 2015.

佐伯和子, 村嶋幸代, 大木幸子, 尾崎章子, 蔭山正子, 河野あゆみ, 西崎美和, 松下光子.

平成 24-26 年度日本地域看護学会地域看護学学術委員会：日本地域看護学会委員会報告 地域看護学の定義について.

日本地域看護学会誌, 17(2), 75-84, 2014.

### (3) 著書

永田智子 (分担執筆)

シンプル衛生公衆衛生学 2015 (監修 鈴木庄亮, 久道茂). 東京：南江堂, 2015.

7-1 地域社会と地域保健. 209-213.

永田智子, 村嶋幸代. (分担執筆)

標準理学療法学・作業療法学 老年学第 4 版. (編集 大内尉義). 東京：医学書, 2014.

30 高齢者の退院支援. 315-319.

蔭山正子 (分担執筆).

成人保健 (神馬征峰編). 系統看護学講座 専門基礎分野, 東京：医学書院, 2015.

健康支援と社会保障制度 (2) 公衆衛生. 172-191.

阪井万裕 (分担執筆).

科学と社会とのコミュニケーション 何を見て、伝え、つなぐか 受講生の学びと発信 科学技術ライティング実験実習 I. 科学技術ライティング演習 I 東京大学 2014 年度冬期. (担当教員: 佐藤年緒). 東京都: 東京大学教養学部附属教養教育高度化機構 科学技術インタープリター養成部門, 2014.

見えないものを見る! 足元に何があるか

下水道を知ることから始める「水活」 13-14,

サイエンスアゴラを見る

リトル研究者たちの挑戦、「ペットラ」で 15-16.

島津明人 (総監訳), 井上彰臣, 大塚泰正, 種市康太郎, 岩田昇, 窪田和巳, 江口尚, 北岡和代, 成瀬昂, 原雄二郎, 阪井万裕, 塚田知香, 渡井いずみ.

ワーク・エンゲイジメント—基本理論と研究のためのハンドブッカー.

東京: 株星和書店, 2014.

#### (4) 報告書

永田智子, 辻哲夫, 飯島勝矢, 山本則子, 五十嵐歩, 石崎達郎, 村山洋史, 成瀬昂, 岩本康志, 両角良子, 湯田道生, 阪井万裕, 松本博成, 櫻井美里, 水井翠, 山本なつ紀.

平成 25-26 年度厚生労働省労働科学研究費補助金 健康安全・危機管理対策総合研究事業.

「レセプトデータを活用した療養場所移行とサービス利用の追跡調査に基づく効果的な地域連携体制の明確化」.

平成 26 年度総括研究報告書, 2015.

永田智子, 辻哲夫, 飯島勝矢, 吉江悟, 山本則子, 五十嵐歩, 石崎達郎, 村山洋史, 成瀬昂, 岩本康志, 両角良子, 湯田道生, 阪井万裕, 松本博成, 土屋瑠見子, 山本なつ紀, 水井翠.

平成 25-26 年度厚生労働省労働科学研究費補助金 健康安全・危機管理対策総合研究事業.

「レセプトデータを活用した療養場所移行とサービス利用の追跡調査に基づく効果的な地域連携体制の明確化」.

平成 25-26 年度総合研究報告書, 2015.

成瀬昂，辻哲夫，飯島勝矢，吉江悟，永田智子，蔭山正子，岩本康志，両角良子，湯田道生，阪井万裕，松本博成，土屋瑠見子，山本なつ紀，水井翠。

平成 25 年度厚生労働省労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業。

「縦断的レセプトデータを用いた医療・介護サービス利用状況の地域間比較」。

平成 26 年度総括研究報告書，2015。

#### (5) シンポジウム・セミナー等

永田智子，行俊可愛，土田恵津子，早田栄（座長 千葉京子，平岡峰子）。

シンポジウム 認知機能低下のある整形外科高齢患者の退院支援。

第 14 回日本運動器看護学会学術集会，神奈川県 はまぎんホールヴィアマール，平成 26 年 6 月 8 日。

横山恵子，蔭山正子，柏木彰，井汲悦子。

家族ピア教育プログラム「家族による家族学習会」～取り組みの実際と今後の可能性～。

第 24 回日本精神保健看護学会学術集会・総会 ワークショップ，神奈川県横浜市立大学金沢八景キャンパス，2014 年 6 月 21-日 22 日。

成瀬昂，蔭山正子，永田智子。

地域診断への GIS（地理情報システム）活用方法と活用事例。

日本地域看護学会学術集会 ワークショップ 6，岡山県 岡山コンベンションセンター，2014 年 8 月 2 日-3 日。

飯塚壽美，岡田久実子，佐藤美樹子，永野昭二，古森隆子，蔭山正子，横山恵子。

分科会「地域における家族支援」。

リカバリー全国フォーラム 2014，東京都 帝京平成大学池袋キャンパス，2014 年 8 月 29 日-30 日。

蔭山正子，横山恵子。

精神障がい者家族会を元気にしている家族ピア教育プログラムを紹介します！。

第 73 回日本公衆衛生学会自由集会，栃木県 栃木県総合文化センター，2014 年 11 月 5 日。

松永篤志.

東日本大震災の被災高齢者における身体活動の促進要因の検討.

高齢社会若手実践的課題研究助成 成果報告.

第 22 回ニッセイ財団高齢社会ワークショップ, 大阪府 ニッセイ財団, 2014 年 11 月 21 日.

岸恵美子, 澤井美奈子, 五十嵐千代, 永田智子.

修士課程での実習の取り組みについて.

報告「保健師教育における実習の取り組み」.

平成 26 年度一般社団法人全国保健師教育機関協議会 関東甲信越ブロック第 2 回会議, 東京都 アルカディア市ヶ谷, 2015 年 2 月 19 日.

#### (6) 学会発表

飯島勝矢, 土屋瑠見子, 吉江悟, 大西弘高, 孫大輔.

大学—地域間連携を基盤とした在宅医療・地域医療への参加型医学教育の先進的取り組み.

第 56 回日本老年医学会学術集会, 福岡県 福岡国際会議場, 2014 年 6 月 12 日-14 日.

吉江悟, 土屋瑠見子, 飯島勝矢.

在宅医療多職種連携研修会: 研修運営ガイドの作成と普及.

第 56 回日本老年医学会学術集会, 福岡県 福岡国際会議場, 2014 年 6 月 12 日-14 日.

飯島勝矢, 秋山弘子, 辻哲夫, 吉江悟, 土屋瑠見子, 大方潤一郎.

ジェロントロジー (老年学) から「い・しょく・じゅう」を考える: 柏モデルを通じての超高齢社会への挑戦.

第 56 回日本老年医学会学術集会, 福岡県 福岡国際会議場, 2014 年 6 月 12 日-14 日.

横山恵子, 蔭山正子.

「家族による家族学習会」に取り組んだ精神障害者家族会の変化.

第 24 回日本精神保健看護学会学術集会・総会, 神奈川県 横浜市立大学金沢八景キャンパス, 2014 年 6 月 21-日 22 日.

飯島勝矢，土屋瑠見子，吉江悟，大西弘高，孫大輔，玉井杏奈.

大学—地域間連携の基盤を踏まえた地域医療における多職種協働での参加型医学教育の取り組み.

第 46 回日本医学教育学会大会，和歌山県 和歌山県立医科大学紀三井寺キャンパス高度医療人育成センター・講堂，2014 年 7 月 18 日-19 日.

成瀬昂，蔭山正子，永田智子。

GIS（地理情報システム）を活用した地域診断の在宅看護実習への応用.

第 17 回日本地域看護学会学術集会，岡山県 岡山コンベンションセンター，2014 年 8 月 2 日-3 日.

蔭山正子，横山恵子.

家族ピア教育プログラムにおいて進行役の家族が変化するプロセス。（優秀ポスター賞）.

第 17 回日本地域看護学会学術集会，岡山県 岡山コンベンションセンター，2014 年 8 月 2 日-3 日.

戸村ひかり，永田智子，清水準一

全国の病院における退院支援の実施体制 — 全国調査の結果より —

第 17 回日本地域看護学会学術集会，岡山県 岡山コンベンションセンター，2014 年 8 月 2 日-3 日.

戸村ひかり，永田智子，清水準一

全国の病院における退院支援看護師の配置状況と関連要因 — 全国調査の結果より —

第 24 回日本保健科学学会学術集会，東京都 首都大学東京荒川キャンパス，2014 年 9 月 27 日

森村知子，三浦朋子，清宮圭矢，平井優美，永田智子。

A 病院救急外来におけるデスカンファレンスが看取りのケアに与える影響.

日本救急看護学会，大阪府 マイドームおおさか，2014 年 10 月 10-11 日.

永田智子, 増野華菜子, 芦田登代, 寺本知恵, 松永篤志, 近藤尚己.  
仮設住宅居住の高齢者の主観的健康感に影響する要因—被災地3カ所の統合データから—.  
第73回日本公衆衛生学会総会, 栃木県 栃木県総合文化センター, 2014年11月5日-7日.

蔭山正子, 横山恵子, 中村由嘉子, 小林清香, 仁科雄介, 大島巖.  
精神障がい者の家族ピア教育プログラムにおける家族の体験—自由記載の分析—.  
第73回日本公衆衛生学会総会, 栃木県 栃木県総合文化センター, 2014年11月5日-7日.

松本博成, 成瀬昂, 阪井万裕, 永田智子.  
中年期成人の要介護状態を想定したときの転居意向とその関連要因.  
第73回日本公衆衛生学会総会, 栃木県 栃木県総合文化センター, 2014年11月5日-7日.

中村由嘉子, 蔭山正子, 横山恵子, 小林清香, 仁科雄介, 大島巖.  
家族学習会が家族と支援者の関係性に与えた影響とパートナーシップ形成のプロセス.  
第73回日本公衆衛生学会総会, 栃木県 栃木県総合文化センター, 2014年11月5日-7日.

吉江悟, 土屋瑠見子, 飯島勝矢, 辻哲夫, 三浦久幸, 鳥羽研二, 大島伸一.  
地域における在宅医療介護連携推進のための多職種研修会の普及に向けた汎用構造の検討.  
第73回日本公衆衛生学会総会, 栃木県 栃木県総合文化センター, 2014年11月5日-7日.

飯坂真司, 吉田美香子, 松永篤志, 永田智子, 真田弘美.  
地域在住高齢者における冬季の下肢ドライスキンの有症率と皮膚関連生活習慣との関連.  
第73回日本公衆衛生学会総会, 栃木県 栃木県総合文化センター, 2014年11月5日-7日.

Rumiko Tsuchiya, Hiroko Okada, Satoru Yoshie, Kyoko Nishida, Yoshiaki Watanabe, Daisuke Hatano, Youko Inamasu, Takatoshi Hasegawa, Kunitake Kamon, Rika Kinokuni, Kiyohito Suzuki, Takayuki Kanai, Takashi Takahara, Ayako Kuzumi, Noriyuki Hashimoto, Kazuo Ogawa, Kaori Endo, Naoki Matsumoto, Tadahiro Kobayashi, Ayako Shikano, Takashi Yamanaka, Katsuya Iijima.

The difficulties faced by the long-term care managers in planning home-visit rehabilitation in Kashiwa city under the Comprehensive Special Zones: a qualitative study.

KOREA-JAPAN 2nd JOINT CONFERENCE for the partnership between KPTA and JPTA, Busan, Korea, November 15-16, 2014.

齋藤あや, 永田智子.

The investigation of current immunization education and parents' needs in perinatal period regarding childhood immunization.

第 34 回日本看護科学学会学術集会, 愛知県 名古屋国際会議場, 2014 年 11 月 29 日-30 日.

戸村ひかり, 永田智子, 清水準一

病院の退院支援に関するシステムの構築状況と、退院支援看護師の配置の有無との関係

第 34 回日本看護科学学会学術集会, 愛知県 名古屋国際会議場, 2014 年 11 月 29 日-30 日.

土屋瑠見子, 吉江悟, 川越正平, 平原佐斗司, 大西弘高, 村山洋史, 西永正典, 成瀬昂, 永田智子, 飯島勝矢, 辻哲夫.

開業医・他職種との協働に対する意識と在宅医療への自信との関連—在宅医療推進多職種連携研修会参加者における検討—

第 19 回日本在宅ケア学会学術集会, 福岡県 九州大学百年講堂, 2014 年 11 月 29 日-30 日.

高梨陽子, 鈴木樹美, 永田智子, 廣田真由美, 森陽子.

大学病院で退院支援を受けた終末期患者の死亡場所およびその関連要因.

第 19 回日本在宅ケア学会学術集会, 福岡県 九州大学百年講堂, 2014 年 11 月 29 日-30 日.

齋藤あや, 永田智子, 齋藤昭彦, 佐藤勇.

周産期の母親の乳幼児の予防接種に関する医療従事者への信頼度の実態把握と接種意図との関連.

第 18 回日本ワクチン学会学術集会, 福岡県, 福岡国際会議場, 2014 年 12 月 6 日-7 日.

永田智子, 蔭山正子, 成瀬昂, 飯坂真司, 御子柴直子.

東京大学大学院修士課程における保健師教育: 1・概要.

第 3 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 兵庫県 神戸国際会議場, 2015 年 1 月 10 日-11 日.

成瀬昂, 永田智子, 蔭山正子, 飯坂真司, 御子柴直子.

東京大学大学院修士課程における保健師教育: 2・講義.

第 3 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 兵庫県 神戸国際会議場, 2015 年 1 月 10 日-11 日.

永田智子, 蔭山正子, 成瀬昂, 飯坂真司, 御子柴直子.

東京大学大学院修士課程における保健師教育: 3・実習.

第 3 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 兵庫県 神戸国際会議場, 2015 年 1 月 10 日-11 日.

Mahiro Sakai, Takashi Naruse, Satoko Nagata.

Satisfaction with Home Visit Nursing Care and Relational Coordination among Home Healthcare Professions. Poster presentation.

18<sup>th</sup> East Asian Forum of Nursing Scholars. Taipei, Taiwan.

NTUH International Convention Center, February 5-6, 2015.

Hikari Tomura, Satoko Nagata, Junichi Shimizu

The Current Situation of Discharge Planning Nurses in Japan - Comparison of the results of two nationwide surveys: 2010 versus 2014

18<sup>th</sup> East Asian Forum of Nursing Scholars. Taipei, Taiwan.

NTUH International Convention Center, February 5-6, 2015.

中村由嘉子, 横山恵子, 蔭山正子, 小林清香, 仁科雄介, 大島巖.  
家族ピア教育プログラム「家族による家族学習会」の立ち上げと普及に必要な要素.

第 10 回日本統合失調症学会, 東京 都市センターホテル, 2015 年 3 月 27-28 日.

(7) 講演等

原彰夫, 永田智子, 鈴木智絵.

第 2 回「地域医療とその問題点」.

平成 26 年度 東葛リベラルアーツ医療系関係講座.

千葉県 東葛飾高校, 2014 年 6 月 14 日.

Mahiro Sakai.

Interprofessional work in home care setting: Relational coordination among home healthcare workers and the effects on clients and workers.

International Research Meeting.

The Hong Kong Polytechnic University School of Nursing, Centre for Gerontological Nursing, Room GH506a, August 21, 2014.

成瀬昂 (講師).

魅せるポスター作成とプレゼン・質疑応答のコツ.

平成 26 年度保健師実践力向上セミナー.

日本公衆衛生看護学会.

東京都 東京大学, 2014 年 8 月 30 日.

蔭山正子 (講師).

地域看護学 2 精神保健福祉活動の実際 (患者・家族支援).

武蔵野大学看護学部 3 年授業.

東京都 武蔵野大学看護学部, 2014 年 9 月 29 日.

Satoko Nagata (Speaker).

Tsunami impact on mortality and health of the residents living in the area severely damaged by the Great East Japan Earthquake on 11 March 2011.

International Conference of Chung-Ang University, 2014.

Chung-Ang University, Seoul, Korea, October 17, 2014.

Takashi Naruse (Speaker).

Analysis of big data in community health nursing research: Introduction of FUKUI Gerontology Historical Cohort Study (FGHCP).

International Conference of Chung-Ang University, 2014.

Chung-Ang University, Seoul, Korea, October 17, 2014.

成瀬昂 (講師).

博士論文への取り組みと今後の展望.

東京医科歯科大学 大学院保健衛生学研究科 看護先進科学専攻教室 研究会.

東京都 東京医科歯科大学, 2014年10月29日.

成瀬昂 (講師).

すぐ使える!保健活動のまとめ方から魅せるプレゼンまで.

平成26年度大分県市町村保健活動研究協議会 専門研修.

大分県国民健康保険団体連合会.

大分県 トキハ会館, 2014年10月31日.

齋藤あや (講師).

日本における予防接種の現状とこれからの課題.

大学院システム管理学専攻実践評価学演習.

千葉県 千葉大学大学院看護学研究科, 2014年11月1日.

土屋瑠見子 (講師).

訪問看護事業所からの訪問リハビリテーション.

平成26年度千葉県生活期リハビリテーション合同研修会.

一般社団法人千葉県理学療法士協会.

千葉県 千葉県作業療法士協会, 千葉県言語聴覚士協会, 2014年11月1日.

蔭山正子 (講師).

保健師によるグループ支援の理論と実践.

川崎市公衆衛生看護の会学習会.

神奈川県 川崎市中原区役所, 2014年11月22日.

松本博成（講師）.

大槌町で感じた **CBPR** の可能性.

活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム「第5回イブニングサロン」.

東京都 東京大学高齢社会総合研究機構, 2014年11月25日.

阪井万裕, 五十嵐歩.

**Community×Research**—香港理工大学・香港大学との学術交流から—

東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻成人看護学／緩和ケア看護学分野主催ブラウンバッグセミナー.

東京都 東京大学医学部5号館汎用実習室, 2014年12月5日.

蔭山正子（講師）.

横浜市保健師Ⅱ（中堅後期）研究—横浜市の保健活動指針検討に関わる研修—.

神奈川県 横浜市研修センター, 2015年1月14日, 2月3日, 3月9日.

成瀬昂（講師）.

保健師になりたくなる実習とはなんだろう～市町村と保健所の連携から～.

平成26年度公衆衛生看護学実習に関する県保健福祉環境事務所課長および企画指導係長会議（保健所統括・管理者対象）.

福岡県保健医療介護部医療指導課.

福岡県 福岡県庁, 2015年1月19日.

成瀬昂（講師）.

保健師になりたくなる実習とはなんだろう～市町村と保健所の連携から～.

平成26年度公衆衛生看護学実習に関する県保健福祉環境事務所課長および企画指導係長会議（実習指導者対象）.

福岡県保健医療介護部医療指導課.

福岡県 福岡県国保会館, 2015年1月20日.

成瀬昂（講師）.

**Relational Coordination Scale** 日本語版のご紹介.

日本赤十字看護大学 地域看護学分野 研究会.

東京都 日本赤十字看護大学, 2015年2月13日.

成瀬昂（講師）.

慢性疾患の発生状況と生活習慣の地域間比較.

平成 26 年度 第 2 回「わがまち健康づくり推進プロジェクト」研修会および平成 26 年度 第 4 回生活習慣病予防対策研修会.

福井県、福井県国民健康保険団体連合会.

福井県 福井県庁, 2015 年 2 月 16 日.

蔭山正子（講師）.

精神疾患を患う人の家族が経験すること：親ときょうだいの経験.

千葉県 市原市精神障害者家族会, こすもす工房, 2015 年 2 月 25 日.

蔭山正子（講師）.

家族が受ける暴力と対応策を考える.

2014 年度日本財団助成事業 精神障がい者家族のピアサポート相談研修会(埼玉家連電話相談員研修会).

埼玉県 埼玉県障害者交流センター, 2015 年 3 月 4 日.

永田智子.

ジェロントロジー共同研究研究報告および意見交換会

「要介護認定の発生リスクの市町間比較、および背景疾患の分布」.

福井県 AOSSA, 2015 年 3 月 17 日.

成瀬昂.

ジェロントロジー共同研究研究報告および意見交換会.

「要介護認定の発生リスクの市町間比較、および背景疾患の分布」.

福井県 AOSSA, 2015 年 3 月 17 日.

## (8) その他

阪井万裕.

健康いきいき職場づくりフォーラム. 事例・研究トピックス 11 月号コラム執筆. 掲載 Web page (限定公開) : [http://www.ikiiki-](http://www.ikiiki-wp.jp/topics/topics_detail/tabid/76/wid/63/Default.aspx)

[wp.jp/topics/topics\\_detail/tabid/76/wid/63/Default.aspx](http://www.ikiiki-wp.jp/topics/topics_detail/tabid/76/wid/63/Default.aspx), 2014 年 11 月 1 日.

阪井万裕.

朝日中高生新聞. みちくさサイエンス. コラム執筆・イラスト作成. 全7回分担当.

2014年12月7日号, 12月14日号, 12月21日号, 12月28日号,

2015年1月11日号, 1月18日号, 1月25日号.

成瀬昂.

健康いきいき職場づくりフォーラム. 事例・研究トピックス 1月号コラム執筆, 掲載 Webpage (限定公開) : [http://www.ikiiki-wp.jp/topics/topics\\_detail/tabid/76/wid/66/Default.aspx](http://www.ikiiki-wp.jp/topics/topics_detail/tabid/76/wid/66/Default.aspx), 2015年1月1日.

#### (9) 受賞

蔭山正子.

2014年日本公衆衛生学会 奨励賞.

精神障がい者家族への支援技術とプログラム開発に関する実践研究.

蔭山正子, 横山恵子.

第17回日本地域看護学会学術集会 優秀ポスター賞.

家族ピア教育プログラムにおいて進行役の家族が変化するプロセス.

#### (10) 国際交流

Natascha Skelmosse (デンマーク・オーデンセ大学病院 看護師) 滞在 (研修) 東大病院見学, 研究調査同行, デンマークに見る地方議員と住民自治を考えるサロン, 訪問看護ステーション見学, 観光案内 2014年9月17日-19日.

Kathy Magilvy 博士 (コロラド大学名誉教授) 滞在 (研究ミーティング) 2014年10月11日-12日.

### 3 研究活動

#### (1) 抄読会

日程（毎週火曜日） 2014年4月8日～5月20日

月 日	担 当	内 容
4月8日	春名めぐみ 永田智子 成瀬昂	抄読会オリエンテーション 母性看護学・助産学分野教室の研究の紹介 地域看護学教室での研究の紹介 ウェルカムランチ
4月15日	疋田直子  南谷真理子	Lam Y, Broaddus ET, et al. Literacy and healthcare-seeking among women with low educational attainment: analysis of cross-sectional data from the 2011 Nepal demographic and health survey. <i>Int J Equity Health</i> . 2013 12:95. (クリティーク 寺本) Cheung CS, Chan CH, et al. Stress and anxiety-depression levels following first-trimester miscarriage: a comparison between women who conceived naturally and women who conceived with assisted reproduction. <i>BJOG</i> . 2013;120:1090-97. (クリティーク 日下)
5月13日	田川愛子  渡部紗智	Goyal NK, Hall ES, et al. Association of maternal and community factors with enrollment in home visiting among at-risk, first-time mothers. <i>Am J Public Health</i> . 2014; 104 suppl 1: 144-51.(クリティーク 成瀬) Asemi Z, Samimi M, et al. The effect of DASH diet on pregnancy outcomes in gestational diabetes: a randomized controlled clinical trial. <i>Eur J Clin Nutr</i> . 2014; 68(4):490-5.(クリティーク 松崎)
5月20日	浅井百合絵  永見悠加里	Kerstis B, Engstrom G, et al. The association between perceived relationship discord at childbirth and parental postpartum depressive symptoms: a comparison of mothers and fathers in Sweden. <i>Uppsala Journal of Medical Sciences</i> 2012; 117: 430-38.(クリティーク 白石) Lakerveld J, Bot SD, et al. The effect of a lifestyle intervention on leisure-time sedentary behaviors in adults at risk: the Hoorn Prevention Study, a randomized controlled trial. <i>Prev Med</i> . 2013;57(4):351-6.(クリティーク 御子柴)

(2) 地域看護学勉強会

日程（毎週火曜日） 前期 2014/4/22～7/8 後期 2014/9/9～2015/3/10

教室員の研究計画および最新研究トピックのディスカッションを目的として行った。

参加者：永田，成瀬，蔭山，御子柴，松永，岩崎，齋藤，阪井，寺本，錦織，水井，山本，田川，本田，永見，松本。

教科書：なし（配布資料のみ）

日程	担当者	内容	話題提供
前期			
4月22日	(火) 錦織・水井・山本	修士論文研究計画	介護保険法改正
5月27日	(火) 錦織・水井・山本	修士論文研究計画	予防接種
6月3日	(火) 松本・土屋寺本	Journal & Critique 文献レビュー報告	診療報酬改正
6月10日	(火) 本田・御子柴 岩崎	Journal & Critique 博士論文研究計画	子ども・子育て支援新制度
6月17日	(火) 齋藤・田川土屋	Journal & Critique 文献レビュー報告	がん対策推進計画
6月24日	(火) 阪井・松本成瀬	Journal & Critique トピック紹介	東京都保健医療計画(救急)
7月1日	(火) 寺本・本田齋藤	Journal & Critique 修士論文研究計画	パーソナルデータの利活用に関する制度
7月8日	(火) 土屋・永見山本・水井	Journal & Critique 修士論文研究計画	—
後期			
9月9日	(火) 田川・土屋	Journal & Critique	食生活改善普及運動
9月16日	(火) 松本・齋藤	Journal & Critique	保育事故防止
9月30日	(火) 阪井松本	Journal & Critique 修士論文研究計画	エボラ出血熱
10月7日	(火) 御子柴本田	研究紹介 修士論文研究計画	ビュートゾルフ

10月14日	(火)	水井 松永	修士論文の進捗状況について 博士論文の進捗状況について	データヘルス 計画
10月21日	(火)	永見 岩崎	Journal & Critique 博士論文研究計画	政策循環論
10月28日	(火)	蔭山 山本	研究紹介 修士論文の進捗状況について	剽窃
11月4日	(火)	松本・齋藤	学会等予行演習	地域包括 ケアシステム
11月11日	(火)	本田 田川	Journal & Critique 修士論文研究計画	—
11月18日	(火)	松永・齋藤 永見	学会等予行練習 修士論文研究計画	モール ウォーキング
11月25日	(火)	鶴見 土屋	卒業論文の進捗状況について 博士論文の進捗状況について	—
12月2日	(火)	野海 齋藤	卒業論文の進捗状況について 博士論文の進捗状況について	としま鬼子母 神プロジェクト
12月9日	(火)	成瀬 阪井	訪問看護関連研究のご相談 博士論文の進捗状況について	訪問看護 ST 新卒育成プロ グラム
12月16日	(火)	山本・水井	修士論文初稿	—
1月6日	(火)	山本・水井	修士論文原稿	—
1月13日	(火)	山本・水井	修士論文発表予行	—
1月20日	(火)	山本・水井	修士論文発表予行	—
1月27日	(火)	永見・松本・ 本田・田川	Journal & Critique	—
2月3日	(火)	鶴見・野海	卒業論文発表予行	—
2月17日	(火)	田川・松本	修士論文研究計画	—
2月24日	(火)	齋藤 本田	博士論文の進捗状況について 修士論文研究計画	—
3月3日	(火)	山本・水井 永見	Journal & Critique 修士論文研究計画	博論報告
3月10日	(火)	阪井・土屋	博士論文進捗状況について	博論報告

### (3) 研究会

	日程	講師およびテーマ (敬称略)
第 211 回	2014 年 4 月 18 日	村嶋幸代 (大分県立看護科学大学 学長・理事長, 東京大学 名誉教授) 「修士課程における保健師教育 —過密カリキュラムの中で何を大事にし、研究者教育と 両立させるか?—」
第 212 回	5 月 16 日	戸ヶ里泰典 (放送大学教養学部 准教授) 「健康生成論と SOC 概念、およびその研究動向」
第 213 回	6 月 20 日	福井小紀子 (日本赤十字看護大学地域看護学分野 教授) 「地域における多職種連携に関する研究について」
第 214 回	7 月 22 日	宮澤仁 (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 准教授) 「GIS による福祉の地域分析 ・ GIS の基本機能 ・ 福祉の地域分析と GIS ・ 福祉、医療 GIS の構築」
第 215 回	10 月 21 日	樋口範雄 (東京大学法学部・大学院法学政治学研究科 教授) 「終末期医療と法」
第 216 回	11 月 14 日	渋井優 (公益社団法人日本看護協会 健康政策部保健師課) 「ハーバード大学への留学について」
第 217 回	12 月 1 日	神谷元 (国立感染症研究所 感染症疫学センター) 「CDC 職員としての公衆衛生活動の実際」
第 218 回	2015 年 3 月 13 日	田口敦子 (東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生看護学分野 助教) 「訪問看護の必要性を判定するアセスメントシートの開発」

#### (4) 研究プロジェクト

永田智子，辻哲夫，飯島勝矢，吉江悟，山本則子，五十嵐歩，石崎達郎，村山洋史，成瀬昂，岩本康志，両角良子，湯田道生。

平成 25-26 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）。

レセプトデータを活用した療養場所移行とサービス利用の追跡調査に基づく効果的な地域連携体制の明確化。

成瀬昂，辻哲夫，飯島勝矢，永田智子，蔭山正子，岩本康志，両角良子，湯田道生。

平成 25-27 年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業）。

縦断的レセプトデータを用いた医療・介護サービス利用状況の地域間比較。

吉江悟，辻哲夫，秋下雅弘，飯島勝矢，山本則子，永田智子，五十嵐歩，成瀬昂。

平成 26 年度厚生労働科学研究委託費（長寿科学研究開発事業）。

在宅療養者に対する地域単位の夜間休日臨時対応体制のあり方に関する研究。

永田智子，鷺見尚己，戸村ひかり，田口敦子

平成 26-28 年度科学研究費助成事業 基盤研究（B）

外来受診患者の潜在的在宅ケアニーズの早期把握および対処方策の開発

成瀬昂。

平成 26-28 年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金） 若手研究（A）

訪問看護師と周囲のチームワークが訪問看護ステーションの効率性に与える影響の評価。

御子柴直子。

平成 25-26 年度科学研究費助成事業（研究活動スタート支援）。

在宅療養の質向上を目指した高齢がん患者のための化学療法導入支援プログラムの開発。

蔭山正子。

平成 26 年度財団法人上廣倫理財団研究助成。

精神障がい者の母親が抱く持続的恐怖心とケア倫理—良好な家族関係の構築に向けて—。

山本なつ紀, 永田智子.

平成 26 年度公益財団法人政策医療振興財団研究助成金. 2014 年 4 月-2015 年 3 月.

母親のマインドフルネスと産後の抑うつ症状の関連について.

(5) 教室内勉強会

質的研究分析勉強会 (2014年4月17日～2014年11月26日)

修士論文・博士論文の分析結果についてディスカッションを行い、分析及び解釈を深めることを目的として行った。

参加者：永田，蔭山，野口（22世紀医療センター），御子柴，岩崎，松永，水井，松本。

教科書：なし（配布資料のみ）

日程	担当者	内容
4月17日（木）	岩崎・松永	データ分析の相談
5月15日（木）	岩崎・松永	データ分析の相談
6月19日（木）	岩崎・松永・水井	データ分析の相談
7月17日（木）	岩崎・松永	データ分析の相談
8月26日（火）	岩崎・松永	データ分析の相談
10月3日（金）	岩崎・松永・水井	データ分析の相談
10月29日（水）	岩崎・松永・水井	データ分析の相談
11月26日（水）	松永・水井	データ分析の相談

CBPR 勉強会 (2015 年 1 月 15 日～2015 年 3 月 27 日)

Community-Based Participatory Research (CBPR) についての基礎的な知識を身につけ、各自の研究を CBPR としてどう発展させるのかについて議論することを目的として行った。

参加者：松本，本田，五十嵐，鈴木，土屋，山本，杉本，小竹，山本，孫。

教科書：Israel, B., Eng, E., Schulz, A.J., & Parker, E. (Eds.). (2012) *Methods for Community-Based Participatory Research for Health*. John Wiley & Sons.

日程	担当者	内容
1 月 15 日 (木)	松本・五十嵐	1. Introduction to Methods for CBPR for Health 2. Developing and Maintaining Partnerships with Communities
1 月 30 日 (金)	孫	4. Infrastructure for Equitable Decision Making in Research
2 月 13 日 (金)	鈴木	6. Using Ethnography in Participatory Community Assessment
2 月 20 日 (金)	松本	7. Community-Based Participation in Survey Design and Implementation: The Healthy Environments Partnership Survey
2 月 27 日 (金)	土屋	9. The Application of Focus Group Methodologies to CBPR
3 月 5 日 (木)	杉本	10. Development, Evolution, and Implementation of a Food Environment Audit for Diverse Neighborhoods
3 月 13 日 (金)	小竹	14. Developing and Implementing Guidelines for Dissemination: The Experience of the Community Action Against Asthma Partnership
3 月 20 日 (金)	松本	13. Documentation and Evaluation of CBPR Partnership
3 月 27 日 (金)	本田	16. Collaborative Mapping for Health Equity: Making Place Visible

#### 4 教育活動

##### (1) 学部講義

##### 1) 地域看護学 4年前期 (2単位)

担当：永田智子・成瀬昂・蔭山正子・飯坂真司・御子柴直子／東京大学地域看護学教室

期間：2014年4月7日～5月14日 月曜日 13:00～16:20,  
水曜日 8:10～12:00

日程	講義題目	担当
4月7日 (月)	地域看護学の概念、対象と機能、動向	永田
4月9日 (水)	精神保健活動	蔭山
4月14日 (月)	成人保健活動論	蔭山・村山
4月21日 (月)	感染症保健活動	早田
4月28日 (月)	難病支援	小川
5月7日 (水)	母子保健活動	蔭山・木内
5月14日 (水)	災害支援、地域看護学総括	永田・蔭山

講師 小川一枝／東京都医学総合研究所・難病医療専門員  
木内恵美／文京区保健サービスセンター・保健師  
早田紀子／東京都健康安全研究センター・保健師  
村山亜矢子／ユニカミノルタ株式会社八王子健康管理センター・保健師

##### 2) 在宅看護論 3年後期 (2単位)

担当：永田智子・成瀬昂・蔭山正子・飯坂真司・御子柴直子／東京大学地域看護学教室

期間：2014年10月16日～12月4日 木曜日 13:00～16:20

日程	講義題目	担当
10月16日 (木)	介護保険制度について	永田・成瀬
10月23日 (木)	ケアマネジメント(演習)	成瀬
10月30日 (木)	訪問看護について(1)	成瀬・角田
11月13日 (木)	重症心身障害児への訪問看護について	成瀬・田川・土屋
11月20日 (木)	退院支援について	永田・鈴木
11月27日 (木)	訪問看護について(2)(事例研究)	角田
12月4日 (木)	在宅ケアシステム・介護予防について	永田

講師 角田直枝 茨城県中央病院 茨城県地域がんセンター 看護局長  
鈴木樹美 東京大学医学部附属病院地域医療連携部 看護師長  
田川富代／土屋由利子 東部訪問看護事業部

### 3) 生きることを支える科学：看護学の最先端

対象：駒場学生

期日：2014年6月26日

内容：だれもが適切な場で適切なケアを受けられるために  
—在宅ケアと退院支援—（永田）

### 4) 健康総合科学概論

対象：健康総合科学科 2年生

期日：2014年10月15日

内容：地域看護学—個と集団を看護する—（永田）

#### (2) 学部実習

##### [2年生] 健康支援実習

期間：2014年10月20日（月）、10月27日（月）

実習報告会：2014年11月17日（月）

実習施設：文京湯島高齢者在宅サービスセンター（4名）  
文京昭和高齢者在宅サービスセンター（5名）  
文京大塚高齢者在宅サービスセンター（4名）  
文京本郷高齢者在宅サービスセンター（4名）

##### [4年生] 在宅看護論実習

期間：2014年6月30日（月）～7月11日（金）

実習報告会：2014年7月11日（金）

実習施設：

##### ①退院支援部署（1日）

東京大学医学部附属病院・地域医療連携部（2名）

三井記念病院・退院支援室（2名）

##### ②訪問看護ステーション（8日）

訪問看護ステーションけせら（2名）

上野訪問看護ステーション（2名）

##### [4年生] 地域看護学実習

期間：2014年12月1日（月）～5日（金）、15日（月）～19日（金）

実習報告会：2014年12月25日（木）

実習施設：大田区さわやかサポート（地域包括支援センター）入新井  
（1名）

文京区保健サービスセンター本郷支所（1名）

(3) 大学院特論

1) 地域看護学特論 I

担当： 永田智子・成瀬昂・蔭山正子・飯坂真司・御子柴直子／東京大学 地域看護学教室

小林小百合／東京工科大学 医療保健学部看護学科高齢者看護学

田上豊／株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部

日程： 2014年6月10日～7月22日 火曜日

内容： 地域看護学の理論・実践・研究について修士レベルの教科書を用いながら学ぶとともに、地域看護活動の方法論の一つである地域組織活動の理論と応用を学ぶ。

日程	講義題目	担当
6月10日 (火) 13:00~16:00	地域看護学の概念について	永田
6月17日 (火) 13:00~16:00	エスノグラフィー	小林
6月24日 (火) 13:00~16:00	モデルと研究(1):モデルの説明、研究デザイン	永田
7月1日 (火) 13:00~16:00	方法論(1):疫学・横断縦断のデザイン	永田
7月8日 (火) 13:00~16:00	在宅ケアシステムの現状とこれまでの経緯(歴史・研究)	田上
7月15日 (火) 13:00~16:00	文献レビューについて	永田
7月22日 (火) 13:00~16:00	方法論(2):介入研究の具体例と組み方	永田

## 2) 地域看護学特論Ⅱ

担当： 永田智子・成瀬昂・蔭山正子・飯坂真司・御子柴直子／東京大学 地域看護学教室

大島巖／日本社会事業大学

大森純子／東北大学大学院医学系研究科

田上豊／株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部

宮澤仁／お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科

日程： 2014年9月9日～10月28日 火曜日

内容： 地域看護学に関する研究の現状と課題について、特に在宅ケアを中心として学ぶ。また、地域看護学研究の方法論についても学ぶ。

	日程	講義題目	担当
9月9日	(火) 13:00～16:20	オリエンテーション	永田
9月16日	(火) 13:00～16:20	CBPR(Community Based Participatory Research)の方法と事例	大森
9月30日	(火) 13:00～16:20	論文輪読	永田
10月14日	(火) 13:00～16:20	プログラム評価の実践と研究	大島
10月21日	(火) 13:00～16:20	在宅ケア・在宅医療の経済評価：研究と制度設計の関係	田上
10月28日	(火) 13:00～16:20	尺度開発の手法と研究例	永田
11月21日	(金) 13:00～16:20	GIS(Geographic Information System)を使った研究の方法と事例	宮澤

### 3) 支援技術論 I (保健師教育科目)

担当：永田智子・成瀬昂・蔭山正子・飯坂真司・御子柴直子／東京大学地域看護学教室

安齋由貴子／宮城大学大学院看護学部看護学科

上野昌江／大阪府立大学看護学地域看護学

大木幸子／杏林大学保健学部看護学科

小宇佐陽子／大田区地域包括支援センター入新井

小西かおる／大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻総合ヘルスプロモーション科学講座

錦戸紀子／東海大学健康科学部看護学科

日程：2014年4月15日～6月23日 火曜日（一部例外あり）

内容：地域住民への個別指導・集団指導を行う際の知識と技術を習得することを目的とする。具体的には、ライフステージ別（母子・成人・高齢者等）、健康課題別（難病・精神・感染症等）、集団別（障がい者・マイノリティ等）にみた健康問題の根拠法令、支援システム、具体的な活動を学ぶ。

日程	講義題目	担当
4月15日（火） 13:00~16:00	健康課題や特定集団への保健師の支援技術：難病、障害者（児）	小西
4月18日（金） 13:00~16:00	健康課題に応じた保健師による支援技術：感染症	大木
4月22日（火） 13:00~16:00	健康課題に応じた保健師による支援技術：精神保健	蔭山
5月20日（火） 14:50~18:10	健康課題に応じた保健師による支援技術：災害	安齋
5月27日（火） 13:00~16:00	ライフステージに応じた保健師の支援技術：母子保健	上野
6月3日（火） 13:00~16:00	ライフステージに応じた保健師の支援技術：高齢者保健	後藤
6月23日（月） 9:00~12:00	ライフステージに応じた保健師の支援技術：成人保健	錦戸

4) 支援技術論Ⅱ（保健師教育科目）

担当：永田智子・成瀬昂・蔭山正子・飯坂真司・御子柴直子／東京大学地域看護学教室

荒木田美香子／国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科

上野昌江／大阪府立大学看護学地域看護学

森光／東京都北区健康福祉部障害福祉課 北区障害者虐待防止センター

佐藤伊織／東京大学家族看護学教室

日程：2014年6月5日～7月16日 水・木曜日

内容：地域住民への個別指導・集団指導を行う際の知識と技術を習得することを目的とする。特に、対人支援技術（信頼関係の構築、家庭訪問、健康診査、健康相談、健康教育、ケースマネジメント、グループ支援）に焦点を当てる。

日程	講義題目	担当
6月5日（木） 13:00~16:00	家族のアセスメント技術	佐藤
6月12日（木） 13:00~16:00	保健師によるケースマネジメントの技術：複雑困難事例、治療やサービスにつなげる支援	森
6月19日（木） 13:00~16:00	保健師によるグループ支援の技術(1)	蔭山
6月26日（木） 13:00~16:00	保健師によるグループ支援の技術(2)	蔭山
7月9日（水） 9:00~12:00	保健師による個別支援技術：家庭訪問、面接、電話など	上野
7月14日（月） 13:00~16:00	集団健康教育の理論と実践	荒木田
7月16日（水） 9:00~12:00	保健師によるスクリーニング技術：乳幼児健康診査など	上野

5) 公衆衛生看護学 I (保健師教育科目)

担当：永田智子・成瀬昂・蔭山正子・飯坂真司・御子柴直子／東京大学地域看護学教室

麻原きよみ／聖路加国際大学地域看護学

五十嵐千代／東京工科大学医療保健学部看護学科

日程：2014年4月3日～5月15日 木曜日

内容：公衆衛生看護学の歴史、世界の動向、倫理、基盤となる概念を学ぶ。

日程	講義題目	担当
4月3日 (木) 9:00~12:00	公衆衛生看護学総論	永田
4月10日 (木) 9:00~12:00	公衆衛生看護学の基礎となる理論(1)	永田
4月17日 (木) 9:00~12:00	保健師活動における倫理	麻原
4月24日 (木) 9:00~12:00	公衆衛生看護における社会的環境の影響	永田
5月1日 (木) 9:00~12:00	公衆衛生看護における物質的環境の影響	五十嵐
5月8日 (木) 9:00~12:00	公衆衛生看護学の基礎となる理論(2)	永田
5月15日 (水) 9:00~12:00	公衆衛生看護学のトピックに関する発表	永田

6) 公衆衛生看護学Ⅱ（保健師教育科目）

担当：永田智子・成瀬昂・蔭山正子・飯坂真司・御子柴直子／東京大学地域看護学教室

麻原きよみ／聖路加国際大学地域看護学

五十嵐千代／東京工科大学医療保健学部看護学科

廣井直美・米原裕美／東京大学教育学部附属中等教育学校

日程：2014年6月11日～7月17日 水・木曜日

内容：コミュニティの健康課題を明確化する方策、および、課題解決に向けた活動方法について学ぶ。具体的には、地域診断とコミュニティ支援の方策について学ぶ。また、学校保健・産業保健における看護活動の展開方法についても学ぶ。

日程	講義題目	担当
6月11日（水） 9:00~12:00	地域診断の方法論(1)：理論とツール	永田
6月18日（水） 9:00~12:00	地域診断の方法論(2)：統計データの活用 地域診断に基づく活動の計画	永田
6月25日（水） 9:00~12:00	地域診断の方法論(3)：地区踏査	麻原
7月2日（水） 9:00~12:00	地域診断の方法論(4)：質的分析方法	永田
7月10日（木） 9:00~12:00	産業保健看護活動論(1)：概要、組織アセスメント	五十嵐
7月17日（木） 13:00~18:10	地域診断の方法論(5)：発表 産業保健看護活動論(2)：個別支援の理論と実践	永田 五十嵐
11月28日（金） 16:40~18:10	学校保健活動論	廣井 米原

7) 行政看護学（保健師教育科目）

担当：永田智子・成瀬昂・蔭山正子・飯坂真司・御子柴直子／東京大学地域看護学教室

安齋由貴子／宮城大学大学院看護学部看護学科

大木幸子／杏林大学保健学科看護学科

小宮山恵美／東京都北区健康福祉部副参事 介護・医療連携推進担当

曾根智史／国立保健医療科学院企画調整主幹

深堀浩樹／東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科総合保健看護学専攻

吉岡京子／東京医科大学医学部看護学科地域看護学

日程：2014年9月10日～10月22日 水曜日

内容：組織マネジメント、システム化、健康政策論、社会資源の開発、事業化、施策化、行財政論等について学ぶ。

	日程	テーマ	担当
9月10日	(水) 9:00~12:00	行政機関における組織構造と公務員	曾根
9月17日	(水) 9:00~12:00	行政機関における健康政策論：施策、事業の作成及び評価	吉岡
9月29日	(月) 13:00~16:00	行政保健師による事業化と施策化(1)：理論財政システム、予算の流れを含む	吉岡
10月1日	(水) 9:00~12:00	行政保健師のリーダーシップと管理能力：理論	深堀
10月8日	(水) 9:00~12:00	行政保健師による事業化と施策化(2)：実践	小宮山
10月15日	(水) 15:30~	システム化、ネットワーク化、社会資源の創出(2)：理論と実践	安齋
10月22日	(水) 9:00~12:00	システム化、ネットワーク化、社会資源の創出(1)：コミュニティ・エンパワメント	大木

(4) 大学院実習

1) 公衆衛生看護学実習Ⅰ

産業保健実習：2014年7月24日（木）

実習施設：医療法人社団こうかん会 水江診療所・京浜保健センター

学校保健実習：2014年12月16日（火）

実習施設：東京大学教育学部附属中等教育学校

継続実習：公衆衛生看護学実習Ⅱ終了後

実習施設：文京区保健サービスセンター

2) 公衆衛生看護学実習Ⅱ

2014年11月17日（月）～12月12日（金）

実習施設：文京区保健サービスセンター等

(5) 活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム  
大学院講義

1) 高齢社会総合研究特論Ⅳ 高齢社会のケア・サポート・システム

5月22日 高齢者と家族、高齢者のケア1：退院支援と意思決定支援

担当：永田 智子

5月29日 高齢者へのケア2：ケアマネジメントと介護予防

担当：成瀬 昂

2) コアセミナー

7月5日 地域診断 担当：永田智子

(6) 卒業論文

鶴見日佳理（指導教員：永田智子）

東日本大震災で被災した仮設住宅住民のソーシャル・ネットワークと精神的健康との関連.

野海直子（指導教員：永田智子，蔭山正子）

中年期の親が子の精神疾患発症から経験したこと.

(7) 修士論文

水井翠（指導教員：永田智子）

緩和ケア病棟における退院支援の看護師にとっての意味

山本なつ紀（指導教員：永田智子・成瀬昂）

Impact of mindfulness and age on state-anxiety among mothers at one month after childbirth.

## 5 学内での活動

### (1) 委員会活動

永田智子

医学部健康総合科学科 教育委員	2007年4月～
医学部カリキュラム改革WGメンバー	2014年1月～
医学図書館運営ワーキンググループ メンバー	2013年4月～
東京大学リーディング大学院プログラム 「活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー 養成プログラム」 幹事	2013年10月～

成瀬昂

医学部健康総合科学科 進学生増ワーキング メンバー	2012年4月～
---------------------------	----------

### (2) 教室内での役割分担

抄読会・勉強会係	永田智子	成瀬昂	齋藤あや	土屋瑠見子
	水井翠	田川愛子		
研究会係	蔭山正子	御子柴直子	寺本千恵	山本なつ紀
	永見悠加里	松本博成		
親睦会・PC係	成瀬昂	御子柴直子	阪井万裕	錦織梨紗
	本田千可子			

## 6 学会における活動

永田智子

### BioScience Trends

Editor	2008年1月～
日本地域看護学会	
理事	2009年8月～
査読委員	2009年8月～
編集委員会委員	2012年8月～
日本看護科学学会	
英文誌編集委員会委員	2010年1月～
社員（代議員）	2015年2月27日～
日本在宅ケア学会	
評議員	2012年4月～
編集委員会委員	2012年4月～
日本民族衛生学会	
編集委員会委員	2012年1月～
評議員	2014年1月～
日本公衆衛生看護学会	
理事	2012年7月～
査読委員	2013年6月～
日本公衆衛生学会	
評議員	2014年11月～

蔭山正子

日本地域看護学会	
学術委員会委員	2013年4月～2015年3月
日本公衆衛生看護学会	
査読委員	2013年6月～

## 7 社会的活動

永田智子

東京都在宅療養推進会議退院支援モデル強化事業

アドバイザー 2014年4月～2015年3月

東京都在宅療養支援員育成研修企画委員会

委員 2013年9月～

全国保健師教育機関協議会

将来計画委員会 委員 2012年6月～

理事 2014年6月～

全国訪問看護事業協会

「認知症グループホームと訪問看護ステーションの今後の連携のあり方に関する調査研究」検討委員会委員 2014年5月～2015年3月

蔭山正子

家族による家族学習会

普及事業企画委員 2007年4月～

阪井万裕

東京都文京区

介護保険認定審査会 委員 2013年4月～

## 8 教室日誌

2014年

4月8日 ウェルカムランチ (研究室)

7月15日 夏の大掃除

納涼会 (本郷「スペインバル カリエンテ」)

9月17日-19日 Natascha Skelmosse さん滞在 (研修)

10月11日-12日 コロラド大学教授 Kathy Magilvy 先生 来日

12月19日 忘年会 (本郷「九州居酒屋 バクバク」)

12月22日 年末大掃除

2015年

3月10日 送別会 (湯島「グラットシエル」)

3月17日

福井県ジェロントロジー研究報告会 (参加: 永田, 成瀬, 阪井, 山本, 松本)

3月27日

年度末大掃除

## 9 教室員名簿(2014 年度)

准教授	永田智子			
非常勤講師	麻原きよみ 大木幸子	安齋由貴子 角田直枝	五十嵐千代 田上豊	上野昌江 吉岡京子
助教	成瀬昂 蔭山正子 飯坂真司 (老年看護学分野兼担)			
特任助教	御子柴直子			
事務員	堀美奈子	山口千鶴子	竹田由美	
大学院生 (博士課程)	松永篤志 寺本千恵 櫻井美里(休学中)	岩崎りほ 土屋瑠見子	齋藤あや 島村珠枝(休学中)	阪井万裕
大学院生 (修士課程)	錦織梨紗 永見悠加里	水井翠 本田千可子	山本なつ紀 松本博成	田川愛子
卒論生	鶴見日佳理	野海直子	武井聡	
客員研究員	秋山直美 鷺見尚己 堀越直子	大島浩子 田口敦子 横山由美	栞原雄樹 戸村ひかり	小林小百合 服部真理子
教室研究生	石川英里 堂本司 山居優子	大橋由基 馬場千恵 吉羽久美	鈴木樹美 廣田真由美 茂寿枝	関根綾希子 柳瀬裕貴